

明石市の共生社会ホストタウン 活動計画

韓国の車いす卓球チームとの様々な交流をきっかけとして、
障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを加速させるとともに、
「人にやさしいまちづくり」を全国に広めることで、共生社会の実現を目指す



ユニバーサルデザインの街づくり

心のバリアフリー

- ユニバーサルモニターを活用した市民参加型の共生のまちづくりの推進
市民公募した(仮称)ユニバーサルモニターとともに駅周辺や宿泊施設、飲食店等、市内のバリアフリー環境の整備や情報アクセシビリティ等の充実を推進(モニター第一号として市内在住のパラリンピアンを委嘱予定)



- ホームドアの設置の促進による誰もが安心して利用できる鉄道駅の整備
障害当事者、市、市議会、商工会議所が連携して取り組み、県内の他の駅に先行してJR明石駅にホームドアが設置されることが決定。
2020年3月までの供用開始を目指し、2018年4月以降着工予定。

- 市民参加型のユニバーサル交流イベントの継続実施
2017年11月実施のこどもユニバーサル交流会のような障害のある人とない人が様々な体験交流を通じて楽しみながらお互いを理解し合えるような参加型交流イベントの実施
- 障害当事者との意見交換や障害者体験など様々な交流を交えた交通事業者・旅館業者への障害理解研修の実施
タクシー事業者向けの視覚障害者理解研修、商業者向け知的障害理解研修、旅館業者向け車いす利用者介助研修等

- 合理的配慮の提供を支援する公的助成制度の継続的運用による飲食店等におけるバリアフリー環境の整備と商業者への障害理解の促進
 - ・市の助成を活用した点字メニュー、筆談ボード、折りたたみ式スロープの配置
 - ・段差解消や通路の拡張、ローカウンター化等の工事施工
 - ・制度利用をきっかけとした障害のある人とない人の交流の機会の創出と商業者の障害理解促進

